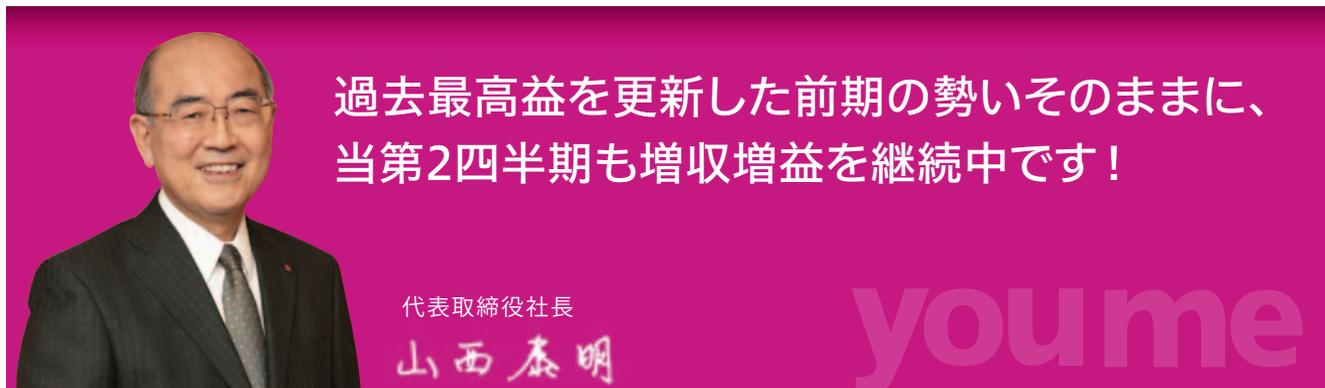


第53期 第2四半期 報告書

平成25年3月1日 ▶ 平成25年8月31日





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期の小売業を取り巻く環境については、円安基調への転換と株式市場の活況による景気回復期待の高まりとともに、消費者の購買意欲は徐々に改善していきました。

当社グループにおいては、“お客様のために尽くす”を実行方針として、お客様の視点での商品やサービスの見直しを推進いたしました。

積極展開している小商圈型店舗では、その売場構成やオペレーションを再検討し、収益性の改善を図りました。また、各店舗においても、これまで取り組んできた生産性改善活動の成果を確実に享受すべく、その定着につとめ、さらに一段の改善を見据えた次段階の取り組みに着手しました。

これらの結果、当第2四半期の連結業績は、過去最高益を更新した前期に引き続き増収増益となりました。

セグメント別の業績については、中核事業である小売事業では、引き続き“いいものを安く”をスローガンに、付加価値の高い商品を競争力ある価格でご提供しました。また、週単位で重点販売商品を投入し、売場の鮮度感を高めつつ販売増加に結びつけました。

テナント部門では、有力テナントへの入れ替えを促進し、既存店舗の競争力向上を図りました。

これらの取り組みやお客様の消費マインドの改善により、

母の日やお盆などのハレの日需要が盛り上がりを見せ、季節用品や盛夏商材への需要も高まったことから、当事業の販売動向は好調に推移しました。

コスト面では総労働時間の削減やパート・アルバイト活用により人件費を抑制しつつ、諸経費の削減を図ったことで、営業利益は大幅増となりました。

小売周辺事業においては、引き続き取り組んできたショッピング時のクレジット利用拡大や電子マネー「ゆめか」の利用拡大を推し進めた結果、取扱手数料収入が増加しました。特に電子マネー「ゆめか」は、当第2四半期末において会員数が300万人を突破し、当社グループ全体への集客力増加にも貢献しました。

当社はこの秋、広島市の表玄関・JR広島駅に隣接する「二葉の里」地区へ、本社を移転します。そこで「夢のある1兆円企業をめざす」という目標に向けて、さらなる経営革新を進めながら、地域の発展に貢献していきたいと考えています。

株主の皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。
地域になくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

営業収益

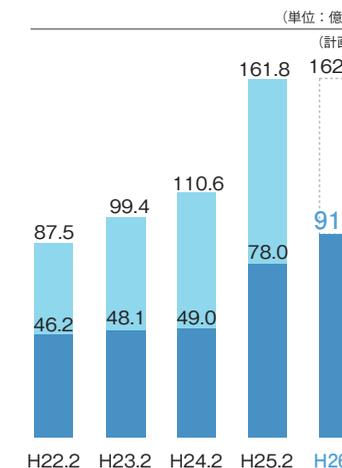
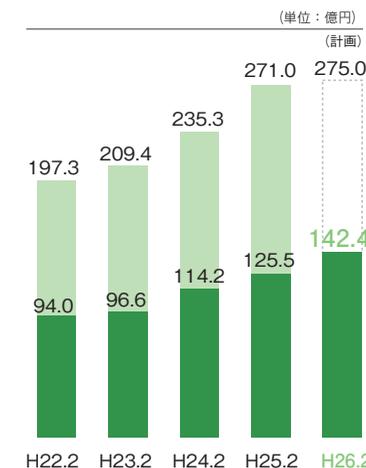
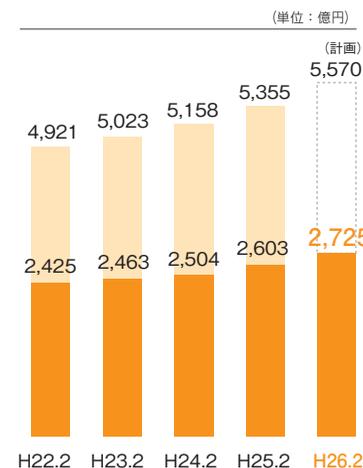
2,725 億円	前年同期比 104.7%
----------	-----------------

経常利益

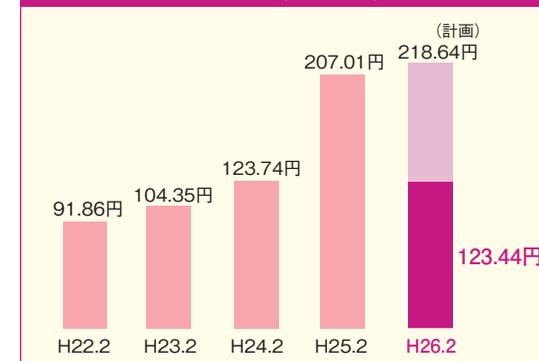
142.4 億円	前年同期比 113.4%
----------	-----------------

四半期純利益

91.7 億円	前年同期比 117.4%
---------	-----------------



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金

過去最高益の更新に当たり、1株当たり配当金を以下のとおり増配させていただきます。





Focus! 新本社プロジェクト

いよいよ誕生する新本社を司令塔として、さらなる挑戦と革新を続けます！

イズミ新本社の誕生が、いよいよ秒読み段階に迫りました。その広島市・二葉の里地区には、大型家具専門店IKEAや高精度放射能治療センターなどの大規模な商業施設・医療施設が次々に進出する予定で、イズミ新本社はそれらの先陣を切っのスタートとなります。



新本社は地上6階・地下1階建てで、2階から6階までがイズミ本社オフィスで、ビル中央部にアトリウムを設け、各フロアを光と視界で統合するような設計となっています。オフィス部分は「コミュニケーション」「IT・セキュリティ」「ローコスト・エコロジー」を基本コンセプトに、諸室にさまざまな最新の機能を整備しています。オフィスの執務スペースの横にはスピード感を持ってミーティングできるようコミュニティスペースを併設。機能的な商談コーナーや研修室、ゆめ図書館、テストキッチンなど、快適性だけでなく安全性と省エネ性を高いレベルで融合させています。また最上階には食堂を、屋上には緑化スペースを配置。やさしく開放感あふれる空間を用意し、執務のオンオフをうまく切り替えられるよう配慮してあります。



食堂(6階)



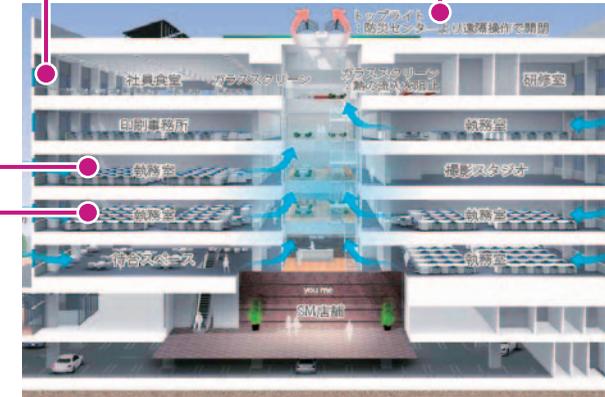
ゆめ図書館(4階)



オフィス・コミュニティスペース(3階)



屋上緑化スペース・太陽光発電



フロアガイド

- ▶ 屋上
屋上緑化スペース・太陽光発電
- ▶ 6階
食堂・研修室
- ▶ 5階
ゆめカード事業部
- ▶ 4階
本社オフィス・撮影スタジオ・ゆめ図書館
- ▶ 3階
本社オフィス
- ▶ 2階
総合受付・商談コーナー・イズミ史料館
- ▶ 1階
ゆめマート 二葉の里
(平成25年11月1日(金)オープン)
- ▶ 地下1階
駐車場

新本社2階に「イズミ史料館」が誕生

史料館では、イズミの歴史とともに戦後・広島復興の歩みもあわせて展示する予定です。地域の人々とイズミによる「生きる力」の記録をご観覧ください。



史料館「広島の復興ゾーン」

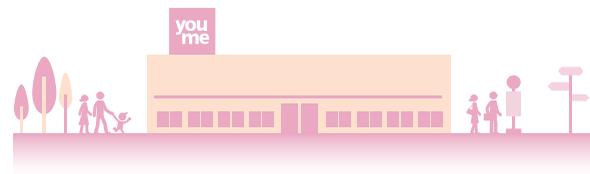
1階には都市型店舗「ゆめマート二葉の里」

わくわくの1階は「ゆめマート」の都市型店舗が平成25年11月1日(金)にオープン。JR広島駅の利用者をはじめ、近隣のオフィスで働くお客様や地域の人々の、日常の利便性を高めます。



ゆめタウンとゆめマートの店舗展開を加速！ 積極出店により持続的成長を目指します！

今年度から2015年度までの3年間、積極的な出店と、さらなるドミナント強化を図っていきます。地域や商圈にあわせて「ゆめタウン」「ゆめマート」を柔軟に投入することで、さらなる成長の原動力としていきます。



ゆめタウン大江(仮称)

平成26年・春
OPEN 予定

店舗概要 ・敷地面積/約19,000㎡ ・延床面積/約10,500㎡ ・店舗面積/約7,100㎡ ・駐車台数/約450台

熊本県下随一の文教エリアの中心に、 地域密着の「新たなライフスタイルセンター」として出店！

建設地周辺は大学や市立図書館、県立劇場などが集う熊本県下随一の文教エリアで、交通アクセスにも優れた住宅地です。計画地には『ゆめタウン大江』のほか、大型家電量販店や銀行、病院、マンション、レストランなども進出予定で、利便性がさらに向上することが見込まれています。『ゆめタウン大江』は食品スーパーを中心に、ファッションや雑貨などの物販機能を集約。気軽に立ち寄れるカフェやスイーツなど飲食機能も備え、地域に密着した「新たなライフスタイルセンター」として期待されています。



ゆめマート西栄

平成25年9月19日
OPEN!

小型新業態の「ゆめマート」、広島県下に初登場！

「ゆめマート西栄」のこだわりは、地域一番の「鮮度と価格」。足元商圈に50歳以上のアクティブシニアの割合が高いことから、「健康」「和食」「少量」「即食」をコンセプトに商品を展開。また、隣接地にドラッグストアも開店予定で、日常的集客力をさらにアップさせます。



・敷地面積/約7,200㎡ ・延床面積/約2,900㎡ ・店舗面積/約1,800㎡ ・駐車台数/約100台

ゆめマート阿賀

平成25年・秋
OPEN 予定

車でも自転車や徒歩でも便利な場所に開店！

建設地は東広島呉道路と国道185号線の結節点にあり、周囲はすでに住宅集積の進んだ地域です。日常の暮らしに便利な品揃えをコンセプトにした「ゆめマート阿賀」には、近隣や遠方からの日常的な来店が期待されます。



・敷地面積/約6,600㎡ ・延床面積/約3,200㎡ ・店舗面積/約2,200㎡ ・駐車台数/約120台

ゆめマート田崎

平成25年・冬
OPEN 予定

熊本市民の台所「田崎市場」に近接する好立地！

建設地はJR熊本駅から約1kmの近さで、県道28号線に隣接するアクセス容易な立地です。周辺には小中学校や病院などのほか住宅集積も進んでいます。また卸売市場も近く、熊本市民にとって「新しい台所」としての期待が高まっています。



・敷地面積/約12,600㎡ ・延床面積/約6,400㎡ ・店舗面積/約4,400㎡ ・駐車台数/約300台

ゆめマート松橋(仮称)

平成26年・春
OPEN 予定

宇城市全域からアクセス容易な好立地！

建設地は九州を南北に貫く大動脈国道3号線(通称:薩摩街道)沿いで、宇城市を東西に走る国道218号線の交差点も至近にある好立地。「いいものを安く」を合言葉に、宇城市全域からの日常的な来店を促します。



・敷地面積/約13,000㎡ ・延床面積/約6,700㎡ ・店舗面積/約4,900㎡ ・駐車台数/約260台

ともに「夢」を育てるイズミグループ

you me
マート

店舗看板を”youmeマート”へ変更しました。
地域の皆様に必要とされる店作りを行います。

株式会社 ゆめマート

平成25年9月より、熊本県下において(株) ゆめマートが運営する14店舗と(株) 西紅が運営する5店舗は店舗看板を”youmeマート”へ変更しました。イズミグループのスケールメリットを活かし、地域のお客様の生活になくてはならない、必要とされる店となるよう、取り組んでまいります。出店地域の生活に密着した品揃えを追究しつつ、イズミグループの仕入れを活用した幅広い商品の提供を行い、お客様満足の向上を図ってまいります。



you me
ゆめカード

ゆめか累計発行枚数**300万枚突破!**
電子マネー「ゆめか」は地域に羽ばたきます。

ゆめか発行枚数
300万枚突破!!



株式会社 ゆめカード

電子マネー「ゆめか」は、平成22年7月の誕生から約3年、ついに発行枚数300万枚を突破いたしました。イズミにおける「ゆめか」の決済額も売上の30%を占めるまでに成長し、多くのお客様から支持を得るとともに、イズミのレジ生産性向上にも寄与いたしました。今後は、さらなるお客様の利便性向上の為、地域カード発行やゆめかプラスの取組み拡大、サービスの拡充、更にはフードコートやゆめタウン店舗外などの幅広い地域や場所への利用先拡大を図ってまいります。



イズミテクノは外部への業務拡大を行いながら、
地域貢献に努めています。

株式会社 イズミテクノ

イズミテクノはゆめタウンなどの施設設備管理業務のほかに、県や市から委託を受け、指定管理物件を管理しております。地元広島県では、広島県立美術館・縮景園、広島県民文化センター、鯉城会館などを管理、運営しております。県立美術館では、この夏ゴッホ展を開催し、124,000人の入館者で賑わいました。11月からはシャガール展を開催いたします。日本未公開作品を中心とした243点を一同に紹介します。是非、美術館、縮景園にお立ち寄りください。



広島県立美術館

当社は、サーティワンアイスクリームを積極展開。FCとして世界一の店舗数に!
上半期既存店も18店舗の改装を行いました。

イズミ・フード・サービス 株式会社

当社のサーティワンアイスクリーム事業は、サンモール店、学園店の新規オープンにより、FCとして世界一の店舗数になりました。さらに、当上半期中に18店舗を改装、LED照明への変更、モニターやサンプルケースの見直しにより、明るく華やかで選びやすい売場になりました。今年40周年を迎えたサーティワンアイスクリームは、新キャンペーンを展開中。新発売のパレットケーキは大人気です。



改装前

改装後



パレット4
2,600円



パレット6
3,400円

業績ハイライト

営業収益	2,725 億円	経常利益	142.4 億円	四半期純利益	91.7 億円
	前年同期比 104.7%		前年同期比 113.4%		前年同期比 117.4%

連結決算の推移

単位:百万円

	通期			第2四半期	
	平成24年2月	平成25年2月	平成26年2月計画	平成24年8月	平成25年8月
営業収益	515,875	535,510	557,000	260,344	272,528
前年同期比	102.7%	103.8%	104.0%	103.9%	104.7%
営業利益	24,254	27,949	28,700	13,037	14,635
前年同期比	111.3%	115.2%	102.7%	110.2%	112.3%
経常利益	23,539	27,102	27,500	12,558	14,243
前年同期比	112.4%	115.1%	101.5%	109.9%	113.4%
当期(四半期)純利益	11,062	16,187	16,200	7,809	9,171
前年同期比	111.3%	146.3%	100.1%	159.3%	117.4%
総資産	370,377	379,824	—	376,876	400,287
純資産	125,389	126,139	—	126,152	130,704
1株当たり(四半期)利益	123.74円	207.01円	218.64円	97.81円	123.44円
1株当たり純資産	1,388.45円	1,541.32円	—	1,466.50円	1,620.55円

[参考] 単体決算の推移

単位:百万円

	通期			第2四半期	
	平成24年2月	平成25年2月	平成26年2月計画	平成24年8月	平成25年8月
営業収益	494,158	514,105	534,000	249,895	261,418
前年同期比	102.8%	104.0%	103.9%	104.3%	104.6%
営業利益	19,948	23,431	24,400	10,628	12,437
前年同期比	112.6%	117.5%	104.1%	111.2%	117.0%
経常利益	19,086	22,448	23,100	10,095	11,941
前年同期比	115.6%	117.6%	102.9%	111.4%	118.3%
当期(四半期)純利益	8,965	12,508	14,000	5,802	8,191
前年同期比	109.6%	139.5%	111.9%	153.3%	141.2%
総資産	320,942	324,183	—	324,295	341,147
純資産	96,502	95,766	—	97,856	99,004
1株当たり配当金	20.00円	38.00円	40.00円	18.00円	20.00円

連結財務諸表

[連結] 貸借対照表

単位:百万円

	前期末 H25.2.28	当第2四半期末 H25.8.31		前期末 H25.2.28	当第2四半期末 H25.8.31
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	6,862	15,536	支払手形及び買掛金	21,517	39,481
受取手形及び売掛金	22,134	24,932	短期借入金	41,625	30,285
商品及び製品	21,384	21,973	1年内返済予定の長期借入金	23,579	25,690
仕掛品	16	180	未払法人税等	6,541	5,455
原材料及び貯蔵品	286	301	賞与引当金	1,466	1,868
その他	14,350	15,061	役員賞与引当金	59	23
貸倒引当金	△ 661	△ 633	ポイント引当金	1,655	1,804
流動資産合計	64,372	77,351	商品券回収損失引当金	58	57
固定資産			資産除去債務	740	741
有形固定資産			その他	14,636	23,930
建物及び構築物	131,862	129,271	流動負債合計	111,881	129,338
土地	131,876	135,881	固定負債		
その他	10,948	16,201	長期借入金	101,625	100,228
有形固定資産合計	274,687	281,354	退職給付引当金	6,358	6,426
無形固定資産	7,012	7,045	役員退職慰労引当金	1,203	1,211
投資その他の資産			利息返還損失引当金	403	349
その他	34,172	34,956	資産除去債務	6,399	6,439
貸倒引当金	△ 421	△ 420	その他	25,810	25,588
投資その他の資産合計	33,751	34,536	固定負債合計	141,802	140,243
固定資産合計	315,451	322,936	負債合計	253,684	269,582
			(純資産の部)		
			株主資本		
			資本金	19,613	19,613
			資本剰余金	22,282	22,282
			利益剰余金	80,942	87,781
			自己株式	△ 7,770	△ 10,540
			株主資本合計	115,067	119,137
			その他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	583	815
			為替換算調整勘定	△ 270	△ 262
			その他の包括利益累計額合計	312	552
			少数株主持分	10,759	11,014
			純資産合計	126,139	130,704
資産合計	379,824	400,287	負債純資産合計	379,824	400,287

資産・負債の状況

資産	4,002億円
	前期末比 ▶ 204億円増加

- 主に店舗新設予定土地の取得等の設備投資により、有形固定資産は、減価償却実施後で66億円増加しました。
- 現金及び預金は、期末日が銀行休業日であったため仕入債務等の資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で86億円増加しました。

負債

負債	2,695億円
	前期末比 ▶ 158億円増加

- 支払手形及び買掛金は、販売増に伴う仕入れの増加に加え、期末日が銀行休業日であったこと等で179億円増加しました。
- 短期借入金及び長期借入金は、設備投資等に充当した一方、期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で106億円減少しました。

純資産の状況

純資産	1,307億円
	前期末比 ▶ 45億円増加

- 利益剰余金は、配当支出等により減少したものの、内部留保額の上積みにより68億円増加しました。
- 自己株式は、期中に1,000千株取得しました。その結果、自己株式の残高は前期末に比べて27億円増加しました。

連結財務諸表

[連結] 損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 H24.3.1~H24.8.31	当第2四半期 H25.3.1~H25.8.31
営業収益	260,344	272,528
売上高	247,992	259,691
売上原価	194,826	204,165
売上総利益	53,165	55,526
営業収入	12,351	12,836
営業総利益	65,517	68,363
販売費及び一般管理費	52,479	53,727
営業利益	13,037	14,635
営業外収益		
受取利息	86	72
仕入割引	185	187
その他	316	381
営業外収益合計	589	640
営業外費用		
支払利息	948	849
その他	120	183
営業外費用合計	1,068	1,033
経常利益	12,558	14,243
特別利益		
固定資産売却益	32	693
負ののれん発生益	745	—
その他	48	61
特別利益合計	826	754
特別損失		
固定資産除却損	230	292
その他	342	47
特別損失合計	573	340
税金等調整前四半期純利益	12,810	14,657
法人税、住民税及び事業税	4,283	5,331
法人税等調整額	465	△ 43
法人税等合計	4,748	5,287
少数株主損益調整前四半期純利益	8,062	9,369
少数株主利益	253	197
四半期純利益	7,809	9,171

損益の状況

営業収益 2,725億円 前年同期比 ▶104.7%

付加価値の高い商品を競争力ある価格で提供し、売場の鮮度感を高めつつ販売増加に結びつけました。また、有力テナントへの入れ替えを促進し、既存店舗の競争力を向上させました。これらの取組みに対し、景気回復期待の高まりとともに消費マインドが改善を続けました。これらにより販売動向は全般的に好調に推移し、当社の既存店売上高は前年同期比3.5%増となりました。

経常利益 142.4億円 前年同期比 ▶113.4%

人的生産性の改善による人件費の抑制等により販売費及び一般管理費の増加も小幅にとどまりました。これらの結果、経常利益は第2四半期として最高益を更新し、売上高対比は5.5%と大幅に改善しました。(前年同期比0.4ポイント増)

四半期純利益 91.7億円 前年同期比 ▶117.4%

これらの結果、四半期純利益は第2四半期として最高益を更新しました。また、1株当たり四半期純利益は、期中に自己株式を1,000千株取得したことも相まって、123.44円(前年同期比25.63円増)となりました。

[連結] キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前第2四半期 H24.3.1~H24.8.31	当第2四半期 H25.3.1~H25.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,810	14,657
減価償却費	6,621	6,096
負ののれん発生益	△ 745	—
のれん償却額	—	57
貸倒引当金の増減額	△ 73	△ 28
受取利息及び受取配当金	△ 124	△ 117
支払利息	948	849
持分法による投資損益	△ 10	△ 10
固定資産売却損益	116	△ 661
固定資産除却損	230	292
売上債権の増減額	△ 1,518	△ 2,797
たな卸資産の増減額	156	△ 768
仕入債務の増減額	2,966	17,963
その他	682	4,753
小計	22,061	40,286
利息及び配当金の受取額	122	119
利息の支払額	△ 941	△ 772
法人税等の支払額又は還付額	△ 5,858	△ 6,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,384	33,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 16,011	△ 10,703
有形固定資産の売却による収入	342	1,513
無形固定資産の取得による支出	△ 178	△ 535
投資有価証券の取得による支出	△ 259	△ 265
子会社株式の取得による支出	△ 413	—
短期貸付金の増減額	81	9
その他	199	329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,237	△ 9,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	12,825	△ 11,340
長期借入れによる収入	7,500	10,000
長期借入金の返済による支出	△ 13,205	△ 9,286
自己株式の取得による支出	△ 3,368	△ 2,769
子会社の自己株式の取得による支出	△ 1,701	—
配当金の支払額	△ 970	△ 1,497
少数株主への配当金の支払額	△ 20	△ 20
その他	△ 134	△ 16
財務活動によるキャッシュ・フロー	924	△ 14,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 1
現金及び現金同等物の増減額	69	8,674
現金及び現金同等物の期首残高	6,260	6,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,330	15,536

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー 332億円の収入

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益146億円、減価償却費60億円、仕入債務の増加額179億円です。

主な支出項目は、法人税等の支払額63億円、売上債権の増加額27億円です。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期と比較すると178億円増加しました。これは主に堅調な企業業績を反映して税金等調整前四半期純利益が増加したこと、並びに期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で仕入債務の増加額が前第2四半期に比べて増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー 96億円の支出

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出107億円です。これは主に、今後の新設店舗に係る先行投資等です。

財務活動によるキャッシュ・フロー 149億円の支出

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

主な収入項目は、長期借入れによる収入100億円です。

主な支出項目は、短期借入金の純減少額113億円、長期借入金の返済92億円及び自己株式の取得による支出27億円です。

現金及び現金同等物の残高 155億円

イズミグループの状況

グループシナジーを追求し、企業価値の増大を目指します。

イズミグループは、当社、連結子会社14社及び持分法適用会社4社(平成25年8月31日現在)で構成され、小売業を中核に、小売周辺事業及びその他の事業を展開しております。各グループ企業がその事業領域を明確にし、シナジー効果を追求することで、さらなる企業価値の増大を図ってまいります。



■ 会社概要

(平成25年8月31日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日
 本社所在地 広島市南区京橋町2番22号
 ※平成25年11月に本社を移転致します。
 【移転先】
 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員 正社員 2,385名
 パートタイマー 4,652名(1日8時間換算)
 店舗数 93店

中国地方 56店 九州地方 23店
 広島県 29店 岡山県 10店 福岡県 13店 佐賀県 2店
 山口県 11店 島根県 6店 大分県 2店 長崎県 1店
 熊本県 5店

その他 14店
 香川県 3店 兵庫県 4店
 徳島県 1店 その他 6店

■ 役員一覧

(平成25年8月31日現在)

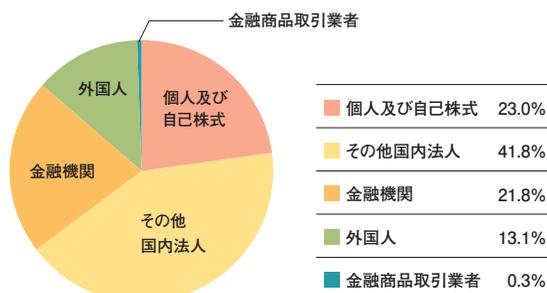
取締役会長 山西 義政
 代表取締役社長 山西 泰明
 専務取締役 梶原 雄一朗
 専務取締役 三家本 達也
 専務取締役 吉田 恒彦
 取締役 中村 豊三
 常勤監査役 川本 邦昭
 監査役 松原 治郎
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況

(平成25年8月31日現在)

会社が発行する株式の総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 78,861,920株
 株主数 4,580名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況



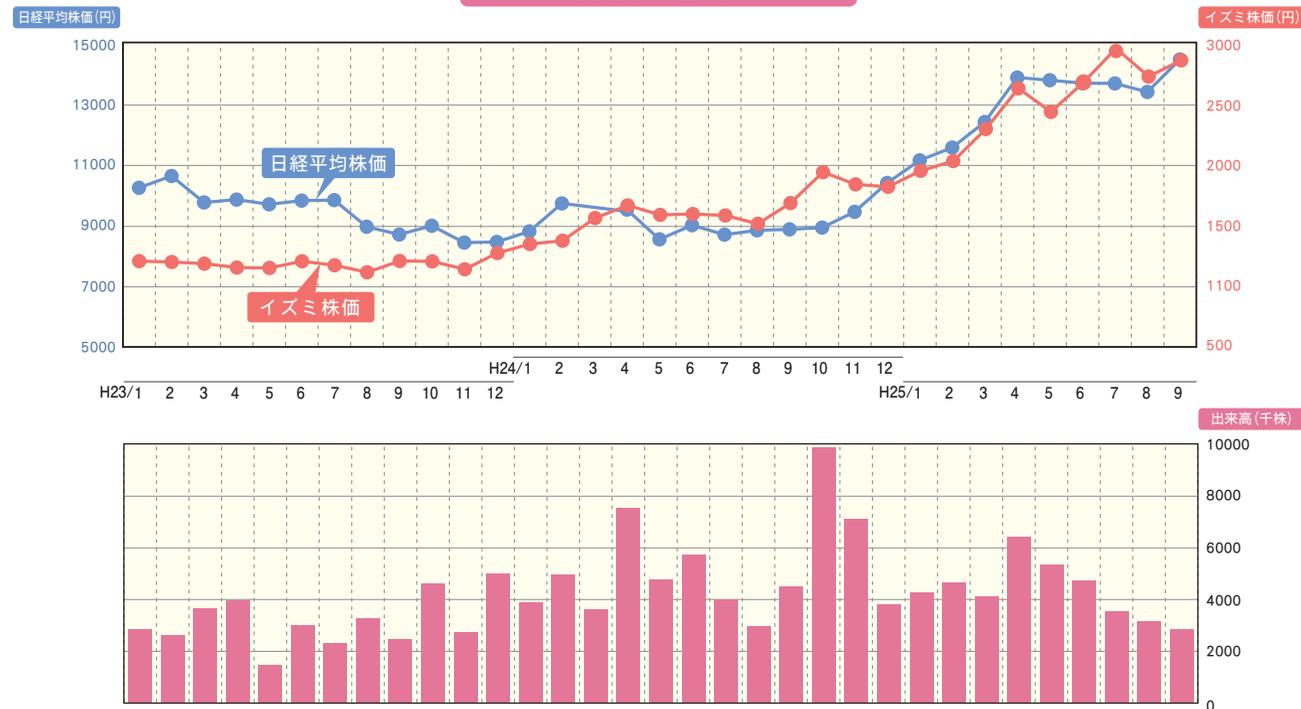
■ 大株主の状況

(平成25年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
(有)泉屋	11,501千株	15.36%
山西ワールド(有)	8,433千株	11.27%
(株)泉興産	4,104千株	5.48%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,772千株	3.70%
(株)広島銀行	2,362千株	3.16%
日本生命保険(相)	2,353千株	3.14%
イズミ広島共栄会	2,242千株	3.00%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,036千株	2.72%
山西 泰明	2,034千株	2.72%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.71%

(注)持株比率は、自己株式(5,001千株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額	
	株主ご優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	5枚 (1,000円相当)	500円相当
1,000株以上	25枚 (5,000円相当)	
2,000株以上	50枚 (10,000円相当)	一律 2,000円相当
4,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
6,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
8,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
10,000株以上	250枚 (50,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円割引券)をご使用いただけます。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

平成25年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

本物の文化とやすらぎを…。

公益財団法人 **泉美術館**



- 開館時間
午前10時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日
月曜日(祝祭日は開館)、年末年始
※展示替えによる臨時休館あり
- 住所
〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階
TEL (082) 276-2600
- ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] ^(※)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] ^(※)	☎ 0120-782-031

(※) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。